

サラヤ株式会社 御中

＜ウガンダ共和国＞
ウガンダ南西部コンゴ難民の子どもとその家族を
対象とした保健と衛生事業

完了報告書



2014年3月
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

事業名	ウガンダ南西部コンゴ難民の子どもとその家族を対象とした保健と衛生事業
事業目的	武力紛争が原因で国外に逃れたコンゴ難民を受け入れているウガンダ南西部の難民キャンプにて、子どもとその家族を対象に水・衛生と保健事業を実施し、衛生的・健康的な生活環境を目指す
対象地	ウガンダ共和国カムウエンゲ県ルワンワンジャ難民キャンプ
事業期間	2013年8月 - 2013年11月（4ヶ月）
総支出額	1,000,000円

ウガンダ共和国カムウエンゲ県にルワンワンジャ難民キャンプには、2012年春に起きた武力紛争から逃れてきた人々が難民として生活しています。現在8,500人を超える青年期の少女がこの難民キャンプで生活しており、この年齢層特有の問題を多く抱えています。例えば、生理用品や下着を始め、衛生用品へのアクセスが限られていることは、その代表的な問題の一つです。

サラヤ株式会社様からのご支援は、同キャンプ内で実施している子どもとその家族を対象とした保健・衛生事業、その活動の中でも再利用可能な衛生ナプキンセットの配布に活用させていただきました。以下、詳細をご報告いたします。

再利用可能な衛生ナプキンの配布

<背景とニーズ>

難民生活によって思うように生理用品が手に入らないことは、感染症にかかったり、妊娠できなくなったりといった衛生・保健上の重大なリスクにつながっています。加えて、生理期間中は学校やコミュニティの活動に参加するのが難しくなるなど、生活の様々な面にも弊害を起こしています。しかし、難民生活という環境においては、日本で一般的な使い捨てナプキンは費用や購入方法を考えると現実的ではありません。このような状況では、洗うことで繰り返し使用が可能なナプキンが経済的かつ衛生的であり、最適と言えます。

<活動内容と成果>

- 800の生理用品セットを配布しました。配られた800セットの内、720セットは学校に通っている少女たち、80セットは学校に通えていない少女たちに配布されました。（なお、今回のご寄附による活動では配布対象に含むことができなかった少女たちにも、セーブ・ザ・チルドレンや他団体による他事業により、同様の生理用品セットが配布されました）

- 生理用品セットには、12枚の再利用可能な衛生ナプキンと2着の生理用下着、また使用後のナプキンを入れるケース、タオル、洗濯石鹼等が含まれており、それらを携帯しやすいように袋に入れて配布しました（石鹼等は約1年分を想定しています）。

- 配布時には、配布物資を初めて使う場合でも適切に使えるように、セーブ・ザ・チルドレンのスタッフがセットに入っているアイテムについて説明してから配布を行いました。また、説明紙をセットの中にも含め、文字だけでなく絵でも示すことで、誰にでも分かりやすいように配慮しました。
- ナプキンは多い時と少ない時とに使える 2 種をセットに含み、少しでも生理中の不快感が抑えられるよう、そして少しでもいつも通りの生活が送れるように配慮しました。

<再利用可能な衛生ナプキンセットに対する裨益者からのフィードバック>

- 衛生ナプキンセットの配布を受け取った少女たちから、喜びの声が聞かれました。
 - ☺ 必要なもの全てがセットになっていて、便利です。
 - ☺ セットに沢山入っているの、使いまわすことができる。
 - ☺ 多い時と少ない時と、2 種類のナプキンがあって、便利でした！
 - ☺ 使い捨てよりも、お金が無駄にならないし、長く使えてうれしい！
 - ☺ 洗うのも簡単でした。
 - ☺ 使った後のナプキンをいれるケースはとっても役に立ちます。
 - ☺ 説明の紙が文字だけでなく絵もあったので分かりやすかったです。
- ポジティブなフィードバックが多かった一方で、下記のような声もありました。
 - ☹ 洗うのに時間がかかって…天気が良くない日は乾きにくいし…。
 - ☹ 石鹸と水と洗面器がいるから、ちょっと大変…。
 - ※ 上記のようなフィードバックを受けた際には、大変さを理解しつつも、多少の労力がかかっても、清潔なナプキンを使うことの重要性を伝え、彼女たちが継続的に衛生なナプキンを使うよう促しています。

今回、配布対象の 800 人の内、720 人は学校に通っている少女たちでしたが、以前は生理期間中には、学校に行くのが不快と感じていたり、学校に行かなくなってしまうケースもありました。しかし、配布後には、生理中でも通常通り学校に通っていることが確認できており、生理期間中だからという理由で、学校に行ったり、友だちと遊んだりといった普段の生活が制限されることが減っていることがわかりました。

<写真>



配布時には、セットの中に入っているアイテムについて、それぞれ説明がされる



セットを受け取り、笑顔を見せる少女たち



配布物資を受けとった少女たち。後ろのボードには「生理は健康」と書かれている。

<最後に>

ルワンワンジャ難民キャンプには、依然として帰還や再定住の目途がたっていない多くの難民が滞在しています。そのような中、御社による支援は、物資に限られる生活を送る難民の少女たちが長く使え、少しでも生活を豊かにし、彼女たちの心身の健康をサポートする支援となりました。

セーブ・ザ・チルドレンは、同難民キャンプ・地域にて、彼女たち、さらに子どもたちやその家族への支援活動を引き続き行います。

いつも温かいご支援を賜り、ありがとうございます。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

以上